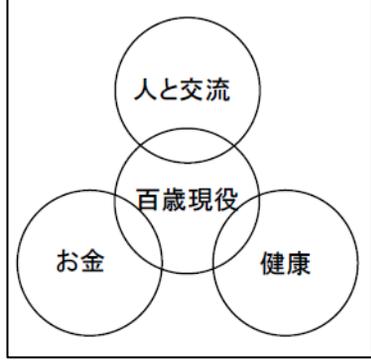


MMQCとは「もっと儲かる業務改善」で「業務改善は、人づくり、品質づくり」を実践する着実・前向き・具体的な活動です。

「着眼大局、着手小局」

右掲は、昨年1月4日に発信した当社のメルマガに記載した戦略構図です。真ん中に「百歳現役」という大きなテーマを掲げており、それを実現するには、「健康」と「お金」というベース課題をクリアした上で「人と交流」が重要になるという意味合いを表している心算の構図なのです。



よく、「着手大局、着手小局」と言いますが、四文字熟語でもよく知られているもので、意味は「戦略構想の基本で、まず、眼をつける時は全体を大きく見て構想を練り、実践は小さなことを積み重ねで事をなす」という事です。何事も「現実には想いよりも深くて広い」という戒めの言葉があるように、一挙にやろうとしても上手く行かない方が圧倒的に多いのです。いろんな障壁があるのですから、まずは「小さなことからコツコツと」という漫才師の西川きよさんの言葉通りなのです。(余談ですが、維新の橋下さんがこの言葉を噛みしめていたらよかったのと思います。)

「百歳現役」という大きな長期戦略は、私には35年もの年月をかけて実現する遠大なものです。一般的に、どんな戦略でも時間をかけて実践するものなので、必ずしも実現するという物ではないように、「百歳」というハードル、しかも、「現役」という大きな課題があるので非常に困難な戦略課題なのです。しかし、「想いは現実化する」という格言があるように、「百歳現役」を本気で考えると、今なすべき事が見えてくるのです。それを私は、「健康」と「お金」という2つのベースと「人と交流」という大きな戦略課題に分けたのです。

とりあえず主義で、小さな事からコツコツと同時並行！

誰しも「一気呵成」に事が成ると有難いのですが、戦略というものは「現実には想いよりも深くて広い」という格言が戒めるように、現実にはぶつかると思わね(想定外)の障害が次から次へと現れてくるのです。「着手大局」と全面戦争みたいな展開になるといろんな障害が現れて手の施しようがない状況に追い込まれるのです。「実践は小さなことを積み重ねで事をなす」とあるように「とりあえず」という手の届くところから始めて、事の本質を十分に噛みしめて課題をつぶして行く必要があるのです。

私の場合、「健康」は生活習慣を改めるという事で「歩く」という基本から始めました。30分2.5kmのウォーキングを1日に何回か行い、身体に負担がない程度で月に200kmを目標にしています。もうすぐ3年になりますが、体重で▲15kgとなり、結構、すんなりとした体形になりました。

「お金」は、去年7月、満65才になり、いわゆるフル年金になりました。既に、家も事務所も自動車もローンは完済していますので、この3つはマンションなので全部で月4万円の管理費を払うだけで維持が可能です。

最後の「人と交流」ですが、これは「ゆるい交際」を想い描いており、例えば、中小企業家同友会や商工会議所などでの交流を想定していました。ところが、20年来の友人が上場企業を定年退職されて関連企業で顧問をされて、意外にもコラボのチャンスが生まれたのです。

こんな風に、現実には想いもしない展開を産み出すのですが、基本は、ベースの2課題(健康と金)が安定している事が重要であり、「看脚下」の諺通り、身近なことから始めることが大切だと実感しています。

ワンポイント・アドバイス

「圧縮付加法」という故船井先生の教えがあります。今の事で精一杯という方が多いのですが、どんな状況でも1割2割のルーズな余裕があるのです。方法を変える事で時間が生まれるのです。「改善」ということは改めて行うものではなく、やりながら品質を高める活動で変えて行く物なのです。あきらめたら終わりです。

